

睦月たより「新年のご挨拶」

白頭よ、利用者さま、ご家族様、また様々な連携をしてくださってありがとうございます。皆さまの温かいご支援、ご高配を賜りまして、感謝申し上げます。

既にご存知のように2025年、75歳以上の後期高齢者数が急増すると言われています。国は住み慣れた地域で必要な医療や介護サービスを受けつつ、安心して自分らしい生活を実現できる社会を掲げ推進しています。

そこに密接に関係する職種である、私たち医療者ができる役割を認識し着実に、皆さまに還元していくことの責務があると感じています。

今年も、チームのビジョン

フローレンスにお願いたいと思っても、ええ、ステーション・地域貢献を目指し！ スタッフ同士コミュニケーションをよく図りお互いの能力や特性を尊重し、助け合い！

それぞれがチーム内での役割を認識しながら、最良のケアを提供できるように！ 各関係機関と密に連携を図り、安心と信頼を提供できるように！

を常に念頭に置いて今年も皆さまの療養の場が安心・安楽過ごせる場であるように、玲生会から盛り上げたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。(裏面 玲生会お雑煮にマップもご覧ください)

【坂、Sキッチン】 お待たせしました！第2弾！

フローレンス・キッチン男子、坂氏が作る簡単時短レシピ

★鶏挽肉の豆乳雑炊★

塩分制限などのある方は、分量よりも薄味で作っていただけたらと思います。キッチン男子の坂氏ですが、訪問している方はご存知と思いますが、理学療法士さんとしてもバリバリ働いています(笑)！



【コラム】認知症になった専門医のはなし

先日、理学療法士の永田さんから、TVで認知症専門医の長谷川先生が認知症になった経緯を覗かすことができました。長谷川和夫先生は長谷川式簡易知能評価スケールを開発された、認知症専門医です。

その後、気になって書店で先生の本を探すと「ボクはやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言」という認知症になってから書いたという先生の書籍を見つけ

さっそく手に！ 認知症のタイプによっても違うようですが、先生はご自身が認知症になって初めて分かったこととして

【固定したものではない】調子がいい時と悪い時があるので「何もわからなくなってしまった人間」として一括しないでほしい事

【置いてきぼりにしない】嫌な思いや感情は深く残る、自分達を抜きに物事を決めないでほしい事

【時間を差し上げる】どんな話を決めるのではなく「何をなさりたいか」「何をなさりたくないか」といった聞き方をしてほしい。聴くだけ待つ時間を差し上げる、そのことで安心を与えられる事

ほか【役割を奪わない】【笑いの大切さ】【みんな違う】【その人中心のケア】【騙さない】【デイサービス】や【シヨートステイ】の事など、書かれています。医療者であっても実際身をもって体験した本人しかわからない事が沢山あります。しかし、そうは言っても、すでにご家族や介護者さんで大変な苦勞をされていらっしゃる方にも沢山お会いしています。

その両者のお気持ちを少しでも理解し、思いに近づけるように、私たち医療者は体験した人やご家族・介護者さんに関わる中でも常に学び、思いに寄り添い取り組んでいく事が大切であると思えます。医療者としての自分・認知症である自分両方の立場からお話くださっている先生の書籍には「認知症」についてわかりやすく理解し向き合うヒントが大いに詰まっています！

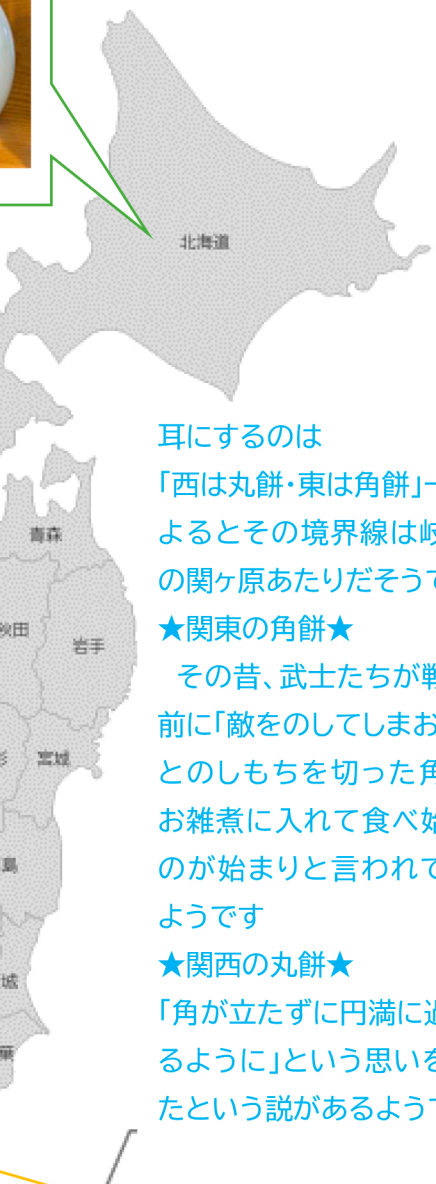
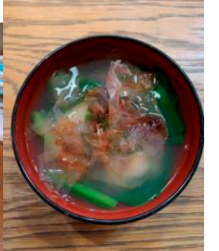
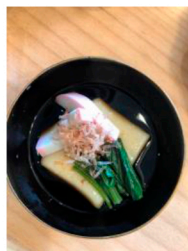
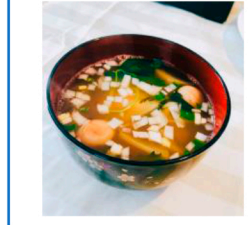
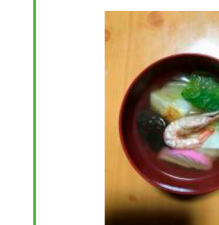
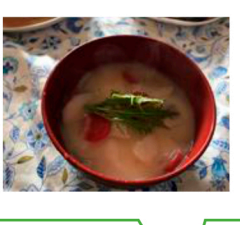
★気になる方にはお貸しいたします。お声掛けください。

玲生会 お雑煮マップ

全国各地、お雑煮は地域や家庭によって違いがあります。共通しているのは、【お餅】が入っている事だけ。世界的にみるとお雑煮はスープ料理の一つになるそうです。

個人的には、餅菜の存在、初めて知りました！そして三つ葉を入れる地域が少なかった事にも驚きました。当たり前食べていたお雑煮が、地域でこんなに違う。見ているだけで面白いです。ちなみに……和と三盆の生産が盛んだった香川の一部で【あん餅雑煮】が食べられているそうです。

お目にかかることができませんでした。見たかった！！



耳にするのは「西は丸餅・東は角餅」一説によるとその境界線は岐阜県の関ヶ原あたりだそうです。★関東の角餅★ その昔、武士たちが戦いを前に「敵をのしてしまおう！」とのしもちを切った角餅をお雑煮に入れて食べ始めたのが始まりと言われているようです ★関西の丸餅★ 「角が立たずに円満に過ごせるように」という思いを込めたという説があるようです